改定日：2023 年 4 月 24 日　バージョン：R0494-13

# 情報公開文面

京都大学医学部附属病院脳神経内科で撮像された画像データを、研究に提供させていただくことにあたっての情報公開について

対象研究名： パーキンソン病及びパーキンソン病関連疾患の臨床症候の相互関連についての検討

**対象者の選択基準**

京都大学医学部附属病院において、2016 年 6 月より「パーキンソン病及びパーキンソン病関連疾患の臨床症候の相互関連についての検討」（承認番号：R0494）にご参加いただいた方。

**研究目的・方法の概要**

パーキンソン病は、脳内の神経伝達物質の１つであるドパミンが不足し特徴的な運動症状が現れる病気と捉えられてきました。その進展はある一定の様式に従うという仮説によって理解されるようになっていますが、現在支持されているこの仮説では説明が難しい臨床所見も存在します。例えば、パーキンソン病では特徴的な運動症状だけでなく認知機能障害、精神症状、感覚障害、自律神経症状など多彩な症状が見られることがありますが、この仮説では説明できるのは一部に過ぎません。また、主症状によって手の震えが強い人・動作が遅くなる人などいくつかのタイプに分かれ、タイプごとに経過に伴う変化の様子が異なることが指摘されていますが、こうした所見も解釈は困難です。
パーキンソン病では、現在考えられている仮説とは違った進展様式があるのではないかと私たちは考えパーキンソン病及び関連疾患患者さんに認められるさまざまな症候を調べ、発現頻度や重症度が疾患進行に伴ってどのように変化するかを調査して参りました。
この度多数例収載したデータを用い、京都大学大学院医学研究科　てんかん・運動異常生理学講座とも共同して研究を遂行する予定としました。この研究のため、ご協力頂いた際のデータを京都大学大学院医学研究科　てんかん・運動異常生理学講座とも共有し、研究の推進に役立てたいと考えております。本研究につきましては、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施されております。

**研究期間**

2016 年 6 月 21 日から 2033 年 6 月 20 日までの予定です。

**個人情報の取り扱いに関して**

研究対象者情報は仮名化します。研究成果を学会や論文で発表する際にも、完全に仮名化します。仮名化を条件に、研究期間終了後もデータを保存し、学術研究に活用します。

**本研究に関して、お問い合わせいただくための手段について**

本研究に関して、問い合わせが可能なように、本研究の内容、実施者、問い合わせ先について京都大学脳神経内科ホームページ内に掲載いたします。

研究や個人情報に関する問い合わせや、研究への利用停止、研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧を求められた場合には、研究対象者でいらっしゃることを確認させていただいた上で、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、速やかに対応いたします。

**研究の資金・利益相反**

本研究は、運営費および国立研究発法人日本医療研究開発機構　戦略推進部　脳と心の研究課「戦略的国際脳科学研究推進プログラム」および科学研究費基盤研究（B）「神経画像ガイド下で認知予備能を活用するリハビリテーションの開発」および寄附金「神経伝達と脳機能研究助成」を資金源とします。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

**研究機関名・責任者**

京都大学医学研究科　脳神経内科　高橋良輔

**情報管理責任者**

京都大学大学院　医学研究科　人間健康科学系専攻　近未来システム・技術創造部門
澤本 伸克

**問い合わせ等の窓口**

本研究の相談等窓口：

改定日：2023 年 4 月 24 日　バージョン：R0494-13

京都大学大学院　医学研究科　人間健康科学系専攻　近未来システム・技術創造部門
澤本 伸克、島 淳
(Tel) 075-751-3111

京都大学の相談窓口:
京都大学医学部附属病院　臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748
(E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp